

■ 取扱説明書

本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
安全に使用して頂くため、必ず説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
また、お読み頂いた後も、この説明書は大切に保管してください。

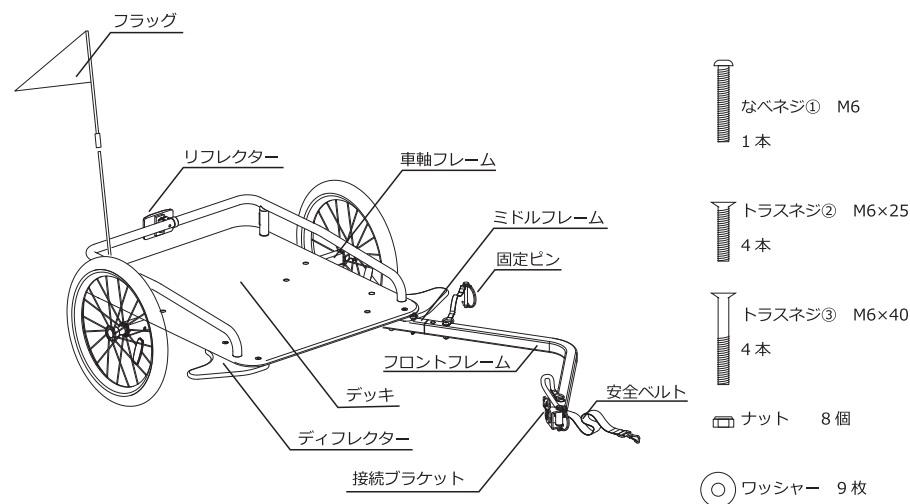
■ Instruction

Read this instruction manual and make sure you thoroughly understand its contents before using this product.
This product is designed and manufactured for use in Japan only.
We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.
The importer shall be translate this instruction manual into the appropriate language for the users of this product.
The distributor shall make the users of this product understand the contents of this instruction manual.

■ ご使用前に

- ・本製品は自転車専用荷物運搬用トレーラーです。それ以外の用途に使用しないでください。
- ・品質には万全を期しておりますが、使用前に破損が無いか確認してください。
- ・本製品が破損した場合は、使用しないでください。
- ・梱包用の袋は、乳幼児や小さなお子さまにとって窒息の危険がともないます。開封後は速やかに処分してください。

■ 各部名称（付属品）



■ 製品仕様

材質：(フレーム) アルミ (荷台) 合板ポリウレタンコーティング
 製品サイズ：(全幅) 760×(全長) 約 1250 mm ※ブラケットの角度により数値が変わります。
 荷台サイズ：W500×D600 mm 最大積載重量：20kg
 重量：7.2 kg (トレーラー本体) 原産国：台湾
 タイヤサイズ：20 インチ バルブ：米式バルブ
 取付可能自転車：20 インチ～700c

⚠ トレーラーの法的扱いについて

[トレーラーを接続して公道を走行する場合]

○道路交通法及び各都道府県の道路交通規則に従って走行してください。

一般的な自転車は、軽車両の中の「自転車」さらにその中の「普通自転車」という扱いです。しかし、自転車にトレーラーを接続した場合、「普通自転車」ではなくなります（道路交通法第2条第1項第11号）。歩道を走行することはできません（道路交通法第17条、第17条の2、第18条）。

⚠ 道路交通法により禁止されていること

- ・歩道の走行
 - ・「自転車通行可」の歩道の走行
 - ・自転車通行帯の走行
 - ・サイクリングロードの走行
- ※自転車と接続した状態でも押して歩く場合は歩行者扱いとなります。
どうしても歩道を通る必要がある場合は、必ず自転車から降りて、押して歩くようにしてください。

また、道路交通法の委任条項を定めた道路交通規則は、各都道府県により異なります。公道を走行する前に、必ずトレーラーを使用する道路の属する都道府県の定める道路交通規則を確認し、遵守してください。

○積載可能上限は当社が推奨する上限を超えないようにしてください。

トレーラーに積載可能な荷物の高さ/幅/重さは、各都道府県の道路交通規則により制限されています。公道を走行する前に、必ずトレーラーを使用する道路の属する都道府県の定める道路交通規則を確認し、遵守してください。

道路交通法及び道路交通規則は、インターネットでも参照することができます。

道路交通法：<http://law.e-gov.go.jp/htmldata/S35/S35HO105.html>

東京都道路交通規則：http://www.reiki.metro.tokyo.jp/reiki_honbun/g1012199001.html

大阪府道路交通規則：http://www.pref.osaka.lg.jp/houbun/reiki/reiki_honbun/k201RG00001084.html



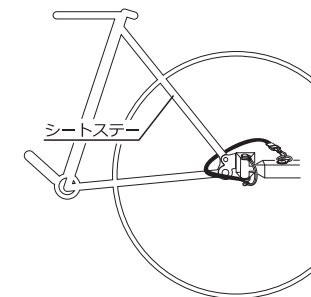
警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・最大 20kg を超過した荷物は載せないでください。
- ・自転車用のゴム紐などで荷物をしっかり固定してください。
- ・荷物とトレーラーの可動部品を絶対に接触させないでください。
- ・デッキ以外の部分、フレームなどに荷物を載せないでください。
- ・真っ直ぐな道では時速 16km、曲がり角では時速 8km を超えての走行は絶対にしないでください。スピードを出しすぎると、曲がりきれずに転倒などの事故を引き起こす可能性があります。十分に速度を落としてからカーブに進入してください。

8. 自転車に設置後に安全ベルトを下図の様に取付けてください。

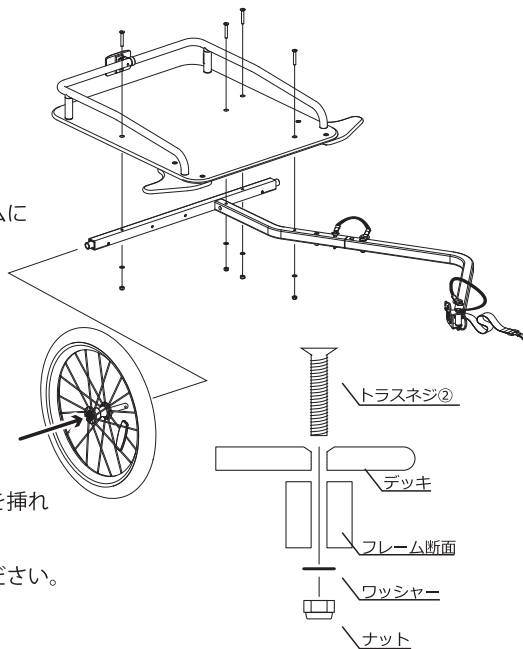
※安全ベルトが長すぎる場合は、ホイールに巻き込まれないようにシートステーに巻きつけて長さを調整してください。



■保管 および メンテナンス方法

- ・長い期間汚れを放置しないでください。素材が劣化する原因となる場合があります。
- ・トレーラーが良い状態を維持するために、必ず 1 ヶ月に 1 度は以下のメンテナンスを行ってください。
 1. タイヤ部： 空気圧が適切か、また破損がないか確認してください。
(バルブの弛みや虫ゴムの傷みがないかも確認してください)
※空気圧が低いとタイヤやチューブの損傷を早め、走行性を悪化させます。
※タイヤの裂けやヒビ割れは突発的な事故を引き起こす原因になり危険です。
 2. フレーム： 弛み、ひび割れ、変形がないか確認してください。
※固定部がはずれた場合、転倒や後続の車（人）を巻き込む可能性があり危険です。
 3. 接続部： 弛みや固定方向に誤りがないか確認してください。
- ・屋内に保管してください。屋外に放置すると、雨や日光などによって劣化を起こす場合があります。
- ・雨や砂・土が付着した場合、タオルで拭くなどしてよく乾燥させてください。
デッキは特に乾燥させてください。
デッキに傷がついた場合はウレタン系のニスもしくは塗料をご使用ください。
- ・製品または付属品は乳幼児の手の届かないところに置いてください。

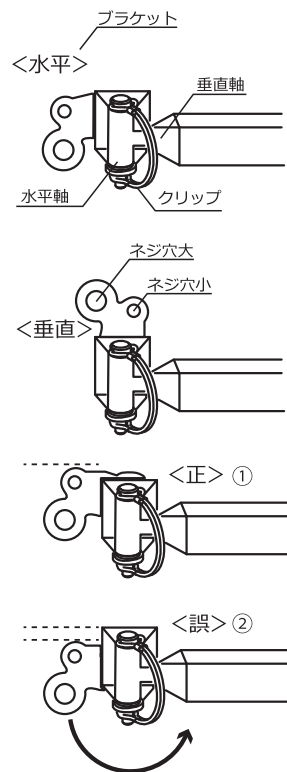
4. フレームにデッキを取付けます。
トラスネジ③とワッシャー、ナットを使用して
ください。デッキは天然木を積層させている
ため、僅かに反りが発生する場合がございます。
トラスネジが届きにくい場合は、デッキをフレームに
押し付けながらナットを締めてください。
ナットの丸く出ている方を下（ネジの外側）に
向けて締めてください。緩み止め機構があるため、
ネジは通常のものより固めになっています。



5. フレームに左右のホイールを取付けます。
ホイール中心部を押込ながら車軸フレームに車軸を挿れ
てください。
※取付後にホイールが抜けなことを確認してください。

■自転車への設置方法

6. 自転車後輪、進行方向左側のハブボルトを外します。
※レンチは付属していません。
7. 接続ブラケットのネジ穴大を、ブラケットが概ね水平から垂直
の間でハブ軸にはさみ、ハブボルトを締めます。
※ネジ穴小はリアエンド付近にダボ穴があれば使用できる場合が
ありますが、ネジ穴大のみで十分な接続強度は保てます。
※ネジ穴小のみで固定、使用しないでください。
破損の原因となる可能性があります。危険です。
※ブラケットは右図①の位置に合わせてください。
右図②の位置の場合はブラケット、垂直軸、水平軸の順に
180度回して右図①の位置に調整してください。



- ・急なハンドル操作をしないでください。転倒する可能性があります。危険です。
- ・トレーラーに人を絶対に乗せないでください。
- ・トレーラーの上に立ったり座ったりしないでください。
- ・トレーラーに自動車のシートその他の座席を取り付けないようにしてください。
- ・トレーラーを改造しないでください。
- ・トレーラーを自動車、原動機付き二輪車、一輪車等、標準的な成人用自転車以外のものに絶対に取り付け
ないでください。無理な加速、力、スピードがかかると大変危険です。
- ・トレーラーを牽引する自転車にはバックミラーを取り付けてください。
- ・トレーラーには必ずリフレクターとフラッグを取り付けてください。
- ・リフレクターが汚れていたり、破損したまま乗らないでください。リフレクターは自動車からトレーラー
を認識しやすくし、ご自身の存在をわかりやすくして危険を防ぐためにも重要な部品です。常に汚れや
破損、脱落がないか点検してください。
- ・走行前にトレーラーが自転車の車輪などに干渉していないことを確認してください。
- ・国で定められている法律、交通規則に従ってください。
(各都道府県によって軽車両の扱いが異なります。)
- ・高速道路や交通量が多い道、自転車走行に適切ではない場所では走行しないでください。
- ・自転車の運転手として、通常よりも車長が長くなっていることを意識して走行してください。
- ・夜間の走行は避けてください。夜間の走行が避けられない場合は、自転車とトレーラーの前後部にライト
を取り付けて走行してください。
- ・車の運転手からトレーラーがいつも見えている状態で自転車側に優先権があると仮定しないでください。
- ・自転車に取り付けられたバックミラーで常に後方の交通状態を確認して下さい。
- ・急なカーブや坂道、凹凸、段差の激しい道や障害物の上をトレーラーを牽引しての走行はしないでくださ
い。簡易舗装道路や工事中の道路、砂利道は非常に滑りやすく、バランスを失うことがあります。
- ・山岳・河川などで使用しないでください。自転車およびトレーラーの重要部品に深刻なダメージを与
えたり、またそれらの破損原因となります。これらの場所、また類似する場所での走行は絶対におやめ
ください。
- ・滑りやすい状況では使用しないでください。雪道や凍結路、工事の鉄板やマンホールの上など、滑り
やすい状況下では一旦自転車を降り、押して通るか避けて通るなど注意を心がけてください。
- ・悪天候での走行は可能な限り避けてください。濡れた路面、滑りやすい路面での走行は、運転操作が非常
に難しくなりますので、大変危険です。
- ・視界の悪い状況では使用しないでください。前方が見えないだけでなく、ほかの歩行者や自動車からも自
転車を認識することが難しくなります。
- ・自転車及びトレーラーに異常があるときは使用しないでください。異常があるまま走行すると、車体や部
品の破損原因となり、また転倒や事故などの深刻な事態を引き起こすことがあります。
- ・走行毎前に積載した荷物がトレーラーのデッキにしっかりと固定されていることを確認してください。



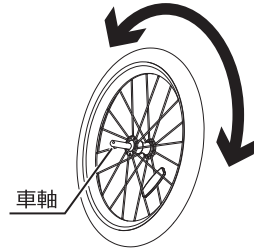
注意

傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

・安全のため、ご使用毎前に以下の項目をチェックしてください。

1. 自転車及びトレーラーに異常がないこと
2. トレーラーのタイヤの空気圧が十分であること
3. 荷物が積載上限（20kg）を超えていないこと
4. トレーラーに積載された荷物が固定されていること
5. トレーラーと自転車の接続部や他の部品に弛みや異常がないこと
6. 安全ベルトが正しく自転車の接続されていること
7. 車輪のベアリングに異常がないこと

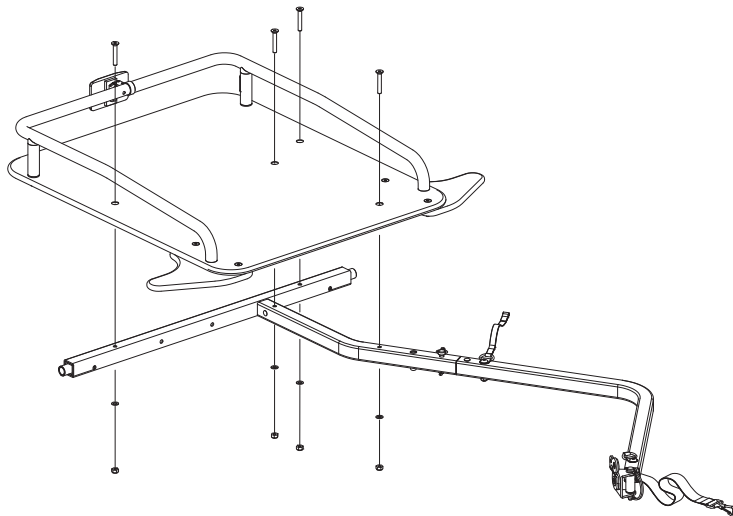
※車輪の中心にはベアリングが入っています。右図車軸を片手で持ち、もう一方の手で車輪が回るか御確認ください。
ベアリングが破損している場合、直ちに使用を中止してください。



・安全にトレーラーを牽引するためのガイドライン

1. トレーラーを牽引しての走行は自転車単独での走行とは操作面で相違しています。
※荷物の重さは、出発時、停止時、曲がるときの走行に影響します。
2. トレーラーを牽引する前に充分時間をかけて練習し、適正な運転方法を身につけてください。
3. 運転方法の身につけた後、10kg程度の荷物をトレーラーに載せ、安全な場所で練習してください。
※車や人の通行がない場所で練習を行ってください。
4. 自転車の運転能力に自信ができるまで、絶対にトレーラーを牽引して公道を走行しないでください。
 - ・トレーラーを牽引する時は、「周囲から認識されやすい」服装や装備でご乗車ください。
 - ・盗難防止のため、トレーラーに荷物を載せているときは周囲を離れないようにしてください。
 - ・自転車及びトレーラーに異常を感じた場合は直ちに使用を中止し、点検・整備を行ってください。
 - ・本製品を廃棄の際は、各地方自治体の廃棄区分に従って廃棄してください。

■フレーム及びデッキ組立図

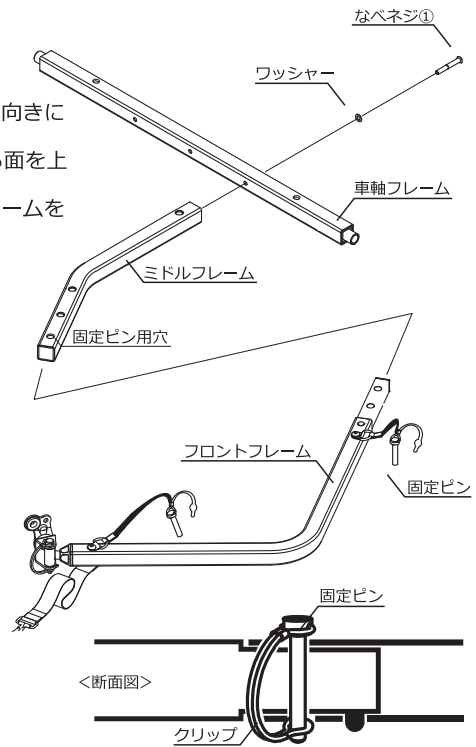


■組立方法

1. なべネジ①にワッシャーを通し車軸フレームと

ミドルフレームを固定します。フレームの取付け位置と向きにご確認ください。車軸フレームの2ヶ所穴が開いている面を上

に置き、右図車軸フレームの一番手前の穴にミドルフレームを取付けます。
※P4 フレーム及びデッキ組立図、P5 フレーム俯瞰図
をご参照ください。



2. ミドルフレームにフロントフレームを取付けます。

フロントフレームの上下に注意してください。固定後に、固定用ピンを差し込みクリップで留めてください。

3. デッキの裏面にディフレクター(巻き込み防止板)を取付けます。

トラスネジ②とワッシャー、ナットを使用してください。緩み止め防止ナットを採用しています。ナットの丸く出ている方を下(ネジの外側)に向けて締めてください。緩み止め機構があるため、ネジは通常のものより固めになっています。

